

ある街の裏通り。

僅かな街灯と、

通り過ぎた誰かの足音だけがその路地を照らし出している。
路地の闇に溶け込みそうな鈍色のドアの奥から、

聞こえてくる嬌声。

ここは「月花—GEKKA—」

来るのは拒まない。

金も美しさも言葉も特別な力も、
何も持っていないでもそのドアは拒まない。
だが、中に入れば気づくだろう。

持たざる者は持たざる絶望に。
店の中で男たちが追い続ける一人の女性は、

月の光の下で咲く夜の花。
その女性の心を奪うもの、

それは、金か、力か、美しさか、心か…。

さあ、常夜の国の姫君の心を奪う、光となれ。

ジャグリングとマジックが彩る、
欲望と真、心の狭間の物語。

ノイス
「月花」の常連客。お調子者で、ムードメーカー。底抜けに明るい笑顔は、若者ゆえの鬱屈とした欲望の裏返しなのかもしれない。

レオ
「月花」の常連客。青年を支えるものは無二の自負と自信。ただ、どんな女を抱いても寝えないその渴きは、ただ一人の幻影を追い続けるからか。

フルーネ
「月花」の一見客。陰気な自分を変える一步として「月花」を訪れた。一見の客など「月花」にとっては何時もの風景。それでもその波紋は僅かならぬ変化の始まりとなる。

ローク

「月花」の常連客。
ミレーヌ一筋の知的な紳士…のはずだが、恋の知識はOZからもらったマニュアル頼み。

OZ

夢奇房の世界を自由に行き来するクラウン。
今夜は「月花」で、客たちにイタズラ三昧。

ビトー

「月花」の常連客。頼るものは金と宝石の暴力。手に入れたいものをその手におさめる為には、非情と冷徹も厭わない。

ブルーム

その立ち振る舞いは高貴。
その一言は甘美。今、姫の最も近くにいて店内の男性の嫉妬と羨望を一身に浴びる、「月花」のオーナー。

ミレーヌ

「月花」の常連客。ブルームに憧れるイケメン大好きな女の子。ほんのちょっとだけ妄想暴走気味なのが玉にキズ。

ティータ

「月花」のバーテンダー。
いつか自分の店を開くことを願い、今日も一生懸命店内を走り回る。

マーブ&キーラ

強面ながらほほえみを絶やさないマーブと、触れれば凍りそうなキーラは、トラブルの多い店内を守るSP二人組。

ソベール

「月花」の常連客。フルーネの兄。
常に華やかで目立ちたがり屋の妹の陰に隠れる無口な青年。

姫

「月花」の上客。麗しき夜の姫君。男たちは、今日も自らの持てる力を彼女に捧げる。彼女の心を奪う光となるために。

リーフ

「月花」の一見客。陰気な自分を変える一步として「月花」を訪れた。一見の客など「月花」にとっては何時もの風景。それでもその波紋は僅かならぬ変化の始まりとなる。